

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】 専門演習 II		
担当者(Instructors)	谷村 祐子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
<p>専門演習Iに引き続き、本演習ではスポーツトレーナーに必要な知識や関連分野（スポーツ医学、運動生理学など）に関わる内容を実践・データ収集・まとめる・修正というサイクルを繰り返すことで、現場実習（社会）で必要となる理論と実践力を身に付けることを目的とする。また、学生個々のニーズに合わせた現場実習を通して、スポーツ種目別及び個人のニーズ別のプログラム構築と処方を実践し、トライ＆エラーを体験しながら学習する。</p>			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ピアインストラクション（根拠やプロセスを教え合うこと）を積極的に取り入れる。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、面談（1）	専門演習IIの運営方針等を説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	卒業論文・就職活動のスケジュールの確認、面談（2）	後期の運用方針の確認をし、スケジュールの立て方を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	トレーナーとしてのキャリアパス（2）	現役トレーナー・卒業生から実践的な知識をや経験を得る。また、得た情報をもとに関連情報を自ら収集し、レポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第4回	文献研究1（テーマ選定）	文献抄読のテーマの選定を行う。	<input type="checkbox"/>
第5回	文献研究2（レジュメ作成）	文献抄読のレジュメを作成し、提出する。	<input type="checkbox"/>
第6回	文献研究発表	文献抄読のパワーポイントを作成して発表する。クラスの学生の発表から良い発表とは何かを考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	研究計画の作成方法 1（テーマ選定の方法）卒業研究の計画発表	文献抄読で収集した参考文献をレビューして卒業研究の仮テーマを決める。	<input type="checkbox"/>
第8回	研究計画の作成方法 2（実験の計画の方法）	文献抄読で収集した参考文献をレビューして卒業研究の実験の計画を立てる。	<input type="checkbox"/>
第9回	卒業研究の計画発表	卒業研究のテーマを決定し、パワーポイントで計画を発表する。	<input type="checkbox"/>
第10回	トレーナーとしてのキャリアパス（3）	現役トレーナー・卒業生から実践的な知識をや経験を得る。また、得た情報をもとに関連情報を自ら収集し、レポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第11回	卒業研究計画修正（1）	卒業研究の研究計画を修正する（Word）。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業研究計画修正（2）	卒業研究の研究計画を修正する（Word）。	<input type="checkbox"/>
第13回	卒業研究計画のポスター発表	卒業研究の研究計画をポスター発表する（Power point）。クラスの学生の発表から良い発表とは何かを考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	ゼミナール大会の聴講（1）	学科の卒論発表会への参加し、卒業研究に相応しい発表内容・あり方についてを考える。	<input type="checkbox"/>
第15回	ゼミナール大会の聴講（2）	学科の卒論発表会への参加し、卒業研究に相応しい発表内容・あり方についてを考える。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)</b>	
<p>【共通】 事前：トレーニング用語や医学用語などの専門分野の単語が多いため、テキスト、参考図書、webを利用し、必要な関連知識を学習する（2時間程度）。事後：毎回、課題が出るので、その課題に取り組む（2時間程度）。【現場実習希望者】 事前：現場実習に向けて実習先の確保や調整を行い、スムーズに現場実習が行えるように準備する（2時間程度）。事後：現場実習をする上で問題点等が発生した場合は、直ちに改善できるようにゼミ内で情報共有するように努める（2時間程度）。</p>	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは添削・採点をしてから返却する。 全体として共通のポイントに関しては全体で共有し、個別のポイントに関しては学生個々に個別指導をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	1. スポーツトレーナーに必要な知識や関連分野(スポーツ医学、運動生理学など)に関わる内容を理解し、問題意識を持つことができる。 2. 現場実習(社会)で出会う問題に対して、解決方法を模索する努力ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験(in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

文献研究のレジюме及び卒業研究の研究計画などのレポート課題  
授業で課された課題(プレゼンテーション課題、エクセルでの検定課題)

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聡樹、これから論文を書く若者のために(究極の大改訂版)、共立出版	978-4320005952
2	Gregory Haffら(著)・篠田邦彦(監)、ストレングストレーニング&コンディショニング(第4版、NSCA決定版)、ブックハウスHD	978-4909011077
3		
4		
5		